

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学実習	担当	澤田 律子	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	講義で学んだ理論を活用し、健康上の問題をもつ成人期の対象を理解し、個別に応じた看護を行うための問題解決能力を養う。さらにチームの一員としての役割、保健医療福祉の連携、協働を通して成人期にある患者に対する看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性期、終末期にある成人期の患者の特徴が理解できる。 2. 慢性期、終末期にある患者の問題を総合的にとらえ看護過程に沿って援助ができる。 3. 慢性期、終末期にある患者に対し、人間関係を基盤とした援助ができる。 4. 慢性期、終末期にある患者を対象とする医療チームの一員として、保健医療福祉との連携、他職種との連携・協働の実際を理解する。 5. 対象の個別性・生活背景を理解し、信条、信念、価値観を尊重した行動がとれる。 6. 急性期、手術療法を必要とする成人期の患者の特徴が理解できる。 7. 急性期、手術療法を必要とする患者の問題を総合的にとらえ援助することができる。 8. 急性期、手術療法を必要とする患者に対し、人間関係を基盤とした援助ができる。 9. 急性期、手術療法を必要とする患者を対象とした医療チームにおける、看護の役割と責任が理解できる。 10. 看護者となるための態度を身につけ、看護に対する考えを深めることができる。 			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習 * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習
3	臨地実習
4	臨地実習
5	臨地実習
6	臨地実習
7	臨地実習
8	臨地実習
9	臨地実習
10	臨地実習
11	臨地実習
12	臨地実習
13	臨地実習

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習病棟の特徴を事前に情報収集し、経過別における看護過程の展開ができるように事前学習をして実習に臨む。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
8年間病院・施設にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	老年看護学実習	担当	酒井 知美	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	老年期にある対象とその家族を含めた人々を総合的にとらえ、加齢や障害の程度に応じた看護が展開できるための知識・技術・態度を修得する。			
目標	1. 老年期にある対象を身体的・精神的・社会的側面からとらえ、健康レベルに応じた看護を総合的に理解する。 2. 老年期にある対象の生活信条、信念、価値観を尊重した行動がとれる。 3. 疾病や障害により生活機能が低下した対象のQOLを高めるための看護を展開できる。 4. 高齢者の保健医療福祉の動向と現状を理解し、他職種との連携・協働を通して看護の役割を理解する。			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習 * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習
3	臨地実習
4	臨地実習
5	臨地実習
6	臨地実習
7	臨地実習
8	臨地実習
9	臨地実習
10	臨地実習
11	臨地実習
12	臨地実習
13	臨地実習

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習病棟の特徴を事前に情報収集し、老年期における看護過程の展開ができるように事前学習をして実習に臨む。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
14年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	小児看護学実習	担当	和田 美江子	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	小児期にある対象の特徴を理解し、各健康のレベルにある子どもとその保護者の看護に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な子どもと接し、乳幼児の成長発達、日常生活を通して子どもの特徴を理解する。 2. 乳幼児のコミュニケーションの特徴を、保育士・教諭や乳幼児との相互作用を通してとらえることができる。 3. 小児各期における特徴を理解し、健康障害をもつ小児と家族の個別性をふまえた看護過程を展開することができる。 4. 健康障害を持つ小児の成長と発達を促す看護について考えを深めることができる。 5. 小児を対象とした医療チームにおける看護の役割と責任を考察できる。 6. 外来における小児と家族の看護を理解することができる。 			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習：保育園にて実習（2年次に実習） * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習：保育園にて実習（2年次に実習）
3	臨地実習：幼稚園にて実習 * 詳細については実習要項を参照
4	臨地実習：幼稚園にて実習
5	臨地実習：幼稚園にて実習
6	臨地実習：小児病棟 * 詳細については実習要項を参照
7	臨地実習：小児病棟
8	臨地実習：小児病棟
9	臨地実習：小児病棟
10	臨地実習：小児病棟
11	臨地実習：小児病棟
12	臨地実習：小児科外来 * 詳細については実習要項を参照
13	臨地実習：小児科外来

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習目標を各実習施設にて達成できるように、事前学習をしっかりと行い実習する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて看護師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	母性看護学実習	担当	戸崎 由美子	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	妊娠・分娩・産褥各期の母性および新生児と、その家族を理解し、健康問題を査定し、対象の健康維持増進のための看護を実践する能力を習得する。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠の正常経過とそれに伴う母性の身体的・精神的・社会的特徴について理解できる。 2. 妊婦の健康診査の目的が理解できる。 3. 妊婦に対する保健指導の必要性が理解できる。また、保健医療制度や社会資源の活用について理解できる。 4. 分娩の正常経過とそれに伴う母性の身体的・精神的・社会的役割について理解できる。 5. 分娩の進行状態に応じた援助ができる。 6. 産褥の正常経過とそれに伴う母性の身体的・精神的・社会的特徴について理解できる。 7. 産褥の経過に応じた援助ができる。 8. 産褥期における保健指導の重要性を理解できる。 9. 家庭での母児関係が円滑に行われるための援助を考えることができる。 10. 新生児の特徴、全身観察の要点が述べられる。 11. 新生児に対する看護が実施できる。 12. ハイリスク新生児の特徴を理解し、必要な観察の要点を理解する。 			

授業計画

日	授業内容
1	学内実習：母性看護技術の確認 * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習：母性病棟 * 詳細については実習要項を参照
3	臨地実習：母性病棟
4	臨地実習：母性病棟
5	臨地実習：母性病棟
6	臨地実習：母性病棟
7	臨地実習：母性病棟
8	臨地実習：母性病棟
9	臨地実習：母性病棟
10	臨地実習：母性病棟
11	臨地実習：保健センター マタニティ教室にて実習
12	臨地実習：保健センター プレパパママ教室にて実習
13	臨地実習：地域における母性に関わるイベント「いいお産の日」にて実習

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習目標を各実習施設にて達成できるように、事前学習をしっかりと行い実習する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
10年間病院にて助産師としての勤務あり

専門分野Ⅱ

科目名	精神看護学実習	担当	寺門 由絵	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	精神に障害をもつ対象を理解し、精神の健康を回復するための援助ができる。実習の経験を通して、自己洞察する能力を養う。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者とのかかわりを通して、精神障害の構造を理解する。 2. 対象のセルフケア能力をアセスメントし、生活の立直しに必要な援助を理解する。 3. 対象—看護者関係の発展過程を理解し、治療的かかわりの技法を理解する。 4. 精神医療における看護の役割・機能を理解する。 5. 対象の社会復帰の場を理解し社会復帰をめざす対象への看護について理解する。 6. 対象のセルフケア能力の広がりを理解する。 			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習 * 詳細については実習要項を参照
2	学内実習: 患者とのコミュニケーションの関りの学習 * 詳細については実習要項を参照
3	臨地実習
4	臨地実習
5	臨地実習
6	臨地実習
7	臨地実習
8	臨地実習
9	臨地実習
10	臨地実習
11	臨地実習
12	臨地実習
13	臨地実習: 共同作業所

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	病院における臨地実習時には、閉鎖病棟・開放病棟・デイケア等にて実習を行う。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
5年間病院にて看護師としての勤務あり